

平成30年度 就労ワーキング活動方針(案)

資料No. 10-3

【これまでの経過】

- ・H28年度、企業が求める仕事と障害者が可能な仕事のミスマッチについての課題があがり、『企業がタイムリーに就労支援事業所を見学できるようなシステム』の検討について運営会議へ提案。企業側と就労支援事業所、障害者の接点づくりをすることで、互いの理解を深めたり、送り出す側のスキルアップや適切な就労支援の提供を目指すための対応策として提示し、ワーキング設置に至る。
- ・H29年度は、見学システムを作る前準備として、就労支援事業所に企業を迎える準備が必要であるため、ワーキングで就労支援事業所へ向けた働きかけとして、セルフチェックシートの作成、就労支援事業所への提示、活用の声かけ、アンケート調査までを行った。

【今年度の方針】

作成したセルフチェックシートについて、アンケート結果をふまえ、
就労移行支援事業所等の職員の資質向上を目指す。

【具体的活動(取り組み)内容】

- ・セルフチェックシート「まずはここからガイドライン～つなげる つながる 虎の巻～試行版」について、「1年目」の事業所職員から利用できるものとしてターゲットを絞る。
- ・就労支援事業所からのアンケート結果を踏まえ、セルフチェックシートの追加・修正を行い、日常的なツールとして、気軽に使ってもらえるものにバージョンアップしていく。
- ・中越圏域就労移行支援事業所連絡調整会議と連携し、統一した方向性での取り組みを行う。